

各 位

## 積水ハウス株式会社

### サステナブル社会実現に向け、社会課題解決を目指した環境・CSR活動の報告書 「サステナビリティレポート2016」 環境コミュニケーション大賞で“環境大臣賞”を受賞

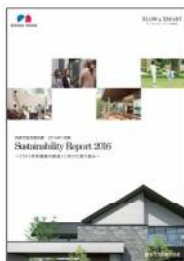
積水ハウス株式会社(社長:阿部俊則、本社:大阪市北区、以下「積水ハウス」)の環境・CSRに関する活動報告書「Sustainability Report(サステナビリティレポート)2016」(2016年5月発行)が、第20回環境コミュニケーション大賞(主催:環境省、一般財団法人 地球・人間環境フォーラム)の環境報告書部門において環境大臣賞(持続可能性報告大賞)を受賞しました。本賞は「環境報告書として優れていることに加えて、持続可能性の視点から社会側面に関する記述に最も優れた報告書」を顕彰するものです。

尚、環境コミュニケーション大賞での優秀賞以上の受賞は4年連続7回目となります。

今般の受賞は、住宅業界としての中長期的な社会課題・環境問題への対応が十分踏まえられている点、グループ各社が連携して製品・サービスを提供するビジネスモデルがCSV※戦略を的確に説明している点、ZEH普及・リフォーム事業拡大などの事業戦略、サプライヤー・パートナーとの協働方針などが評価されました。

※「Creating Shared Value(共有価値の創造)」の略。社会課題の解決と企業の利益、競争力向上を両立させ、社会と企業の双方に価値を生み出す取り組み。

#### ■「サステナビリティレポート2016」ラインナップ



	冊子	WEB	別冊
編集方針	重要性の高い情報に絞り込み、読みやすく・わかりやすい編集 全78ページ	あらゆるステークホルダーへの説明責任を果たすため、網羅的に(冊子より詳しく)情報開示 PDFにて一括ダウンロードも可能 (A4で) 495ページ	特にお客様の関心が高く、重要性の高い活動に絞り込んで編集 全18ページ
対象読者	グループ全従業員、有識者、CSRへ関心が高いお客様	あらゆるステークホルダー	一般のお客様

「サステナビリティレポート2016」冊子で初めてGRI「サステナビリティレポート・ガイドライン第4版」(G4)の「中核」に準拠しています。また、特定標準開示項目(46側面)から選出した、当社グループにとってマテリアルな19側面を六つの「CSV戦略」に束ねて開示しています。そして、社外に配布する一方で、グループ全従業員(約2万3千人)にも配付し、eラーニングなどを実施して、自社取り組みの理解度向上を図っています。

積水ハウスグループは、あらゆるステークホルダーとともに、時代の要請に応える新たな価値を創出する環境・CSR活動に取り組み続けることで、さまざまな社会課題を解決し、持続可能な社会構築を目指します。